

国交省奈良国道事務所の職員

タクシー代年463万円

07年度

国土交通省奈良国道事務所(奈良市大宮町3)の職員が、07年度1年間に1人で269回計463万円のタク

シー代を使っていたことが、同事務所への取材で明らかになった。同事務所によると、事務所全体のタクシー代も07年度は2583万円に上ったが、08年度は約10分1の水準に激減した。国会でタクシ

利用が問題化したためとみられ、オンブズマンのメンバーは「それだけ無駄遣いがあったのだから」と批判している。

同事務所によると、職員は帰宅で173回390万円分、業務で96回72万円分タクシーを使った。事務所は職員の所属などを明かしていない。

平日だけ出勤したと仮定すると、3日に2日程度はタクシーで帰宅した計算になる。また、帰宅に使用したタクシー代の総額を、利用回数で割ると、1回の帰宅に約2万2000円使っていた計算になる。

同事務所によると、事務所全体のタクシー代は06年度約3400万円。07年度2583万円(月平均215万円)に減った。07年度末ごろからタクシー利用が問題化し、08年度

前半期(4〜9月)では135万円(月平均22万円)にまで激減している。月平均でみると、前年のほぼ1割まで減った。

同事務所は「タクシ

利用は必要最小限にしており、この職員を含めて07年度のタクシ

「利用は適正だった」と説明する。08年度の大幅減は「更に適正化を図ったため」としている。県市民オンブズ

税金だからということ

で、使い方が放漫にな

っていたとは思えない」と指摘した。

県はタクシー利用を必要最小限にしており、帰宅では原則使っていない。奈良市も通勤・帰宅を含めてほとんど使っていないという。

【中村敦茂】

北陸・芦原温泉
政府登録国際観光旅館
HOTEL
八木
PHONE (0776)78-5000